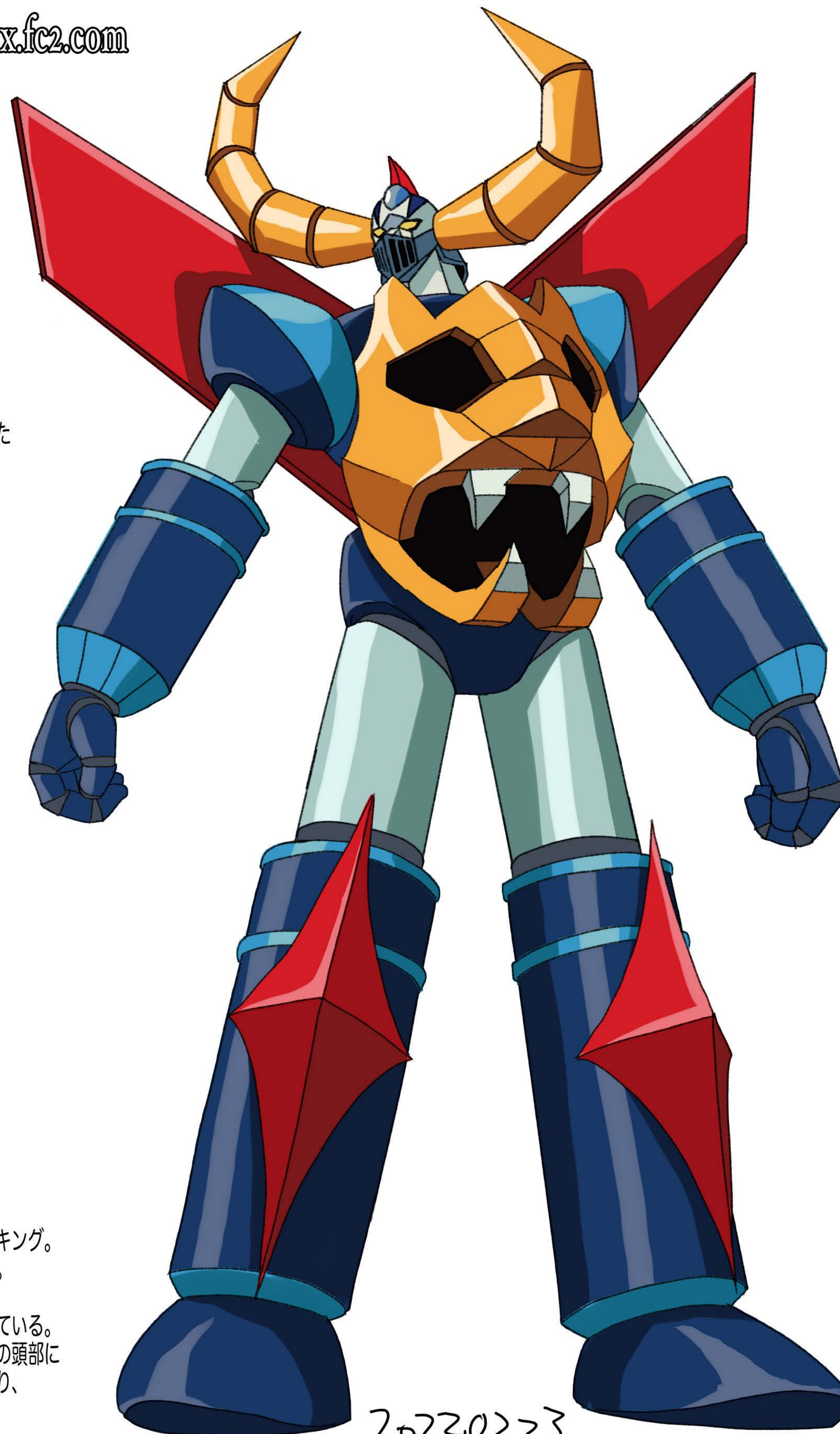


# 大空魔竜ガイキング

<https://majingai.x.fc2.com>



2022.02.23

『大空魔竜ガイキング』（だいくまりゅうガイキング）は、1976年（昭和51年）4月1日から1977年（昭和52年）1月27日までフジテレビ系で毎週木曜日19:00 - 19:30に全44話が放送された、東映動画製作のロボットアニメ。

## 【概要】

本作が初の東映動画オリジナル企画によるロボットアニメとされている。それまでの東映動画のロボットアニメは、漫画家の永井豪と永井の「ダイナミックプロ」から原作提供を受けており、本作でも原作協力という形で参加している。神谷明、井上真樹夫、山田俊司といった当時の人気声優が多数出演したため、本作のアフレコには女性ファンがドットと押しかけたという。虫プロダクション系の制作会社マッドハウスから、杉野昭夫、丸山正雄らがスタッフとして参加。東映動画に新風を送り込んだと評価され、後番組の『ジェッターマルス』にも引き続き参加した。骸骨をモチーフとした異形のデザイン、戦闘に直接参加する移動基地、母星絶滅の危機のため戦いに駆り出されるゼーラ星人の悲劇等を取り入れながらコメディリリーフ的な話も織り込まれる等、それまでのロボットアニメには無かった要素が多数盛り込まれている。主役ロボットの名称「ガイキング」は「ヴァイキング」を元ネタとしている。

## 【ストーリー】

ブラックホールの影響で消滅の危機にあるゼーラ星。救世主として生み出されたダリウスは逆に人々を支配し「暗黒ホラー軍団」を結成、移住するべく、地球征服へと乗り出した。野球選手ツワブキ・サンシローは軍団にその秘めた超能力を警戒され、選手生命を絶たれてしまう。だが、軍団に対抗するため集められた「コンバットフォース」の仲間達と巨大メカ「大空魔竜」と出会い、侵略者と戦っていくことになる。

## 【ガイキング】

パート3（大空魔竜の頭部）とパート1（上半身）、パート2（下半身）が合体して完成する戦闘用巨大ロボ。身長50メートル、重量220トン。頭部には大型の角をそなえており、胴体は大空魔竜の頭部そのもの。パート3の搭載武器の多くは大空魔竜の状態でも使用可能である。パワー設定は不明であるがガイキング単機で大空魔竜を運ぶ程の力を有している。大空魔竜や全ての味方機を含めゾルマニウム合金製。パイロットはサンシロー。多彩な兵器を内蔵するものの、決め手となる必殺技がある訳ではなく、強力な敵に苦戦する場面もしばしばあったが狙いは主力の大空魔竜と戦力を二分割した戦術であり大空魔竜の戦力をも上回る兵器を多く持つ。1話のピートの談によると初手の合体（パート3と1の合体で主に胴体を含めた上半身）は手動で行われるのは必須であり2手目（1と3合体後のパート2の下半身）は自動で出来るとのこと。発進手順としては先にパート1と2を射出し、大空魔竜のメインブリッジからサンシローが独立コクピット（「シューターゴー」の合図でパート3である大空魔竜頭部に移動）に乗りパート3で出撃し合体する。番組途中からではあるが戦闘開始の合図は「ガイキング合体完了」であり、合体が問題なく成功したことを意味する。それだけ難しい合体であった。なお、ナビゲイトとアナウンスはミドリが行う。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

## 【スタッフ】

原作：中谷国夫、杉野昭夫、小林檀  
協力：ダイナミック企画  
企画：別所孝治（フジテレビ）、春日東（旭通信社）、田宮武（東映動画）  
制作担当：菅原吉郎  
シリーズ構成：丸山正雄  
キャラクター設計：白土武  
制作：フジテレビ、東映、旭通信社

強化ガイキング（フェイス・オープン）  
暗黒怪獣ムーンコンドルとの戦いで大破した後、大幅な改修を加えられて復活したガイキング。四肢が太くなり、マスク部のスリットが削除、両眼に縦縞のパターンが付加されている。最大の特徴は「フェイス・オープン」の掛け声で頭部アーマーを弾き飛ばし出現する超兵器ヘッドである。悪玉然としたデザインもさることながら多数の追加兵装がなされている。従来通りデスパーサイトも使用可能。新兵器は全てフェイス・オープン時のガイキングの頭部に集約されている。ラジエター（冷却口）に視られたガイキング口部の隙間も埋まっており、熱量を溜めるための最終手段である。

# 1976年



# 大空魔竜ガイキング

## 【大空魔竜】

大空魔竜隊（コンバットフォース）の中心となる恐竜型移動要塞。空陸移動のほか潜水も可能。全長400メートル、重量3万8千トン。脚は2本で、化石をイメージした骸骨状の頭部には巨大な双角がある。乗組員は総司令の大文字博士と各搭載機のパイロットを含めて68名で長期運航も可能で居住するためのクルーの部屋もある。主力武装（ザウルガイザー、ハイドロブレイザーなど）が集中する頭部はガイキングのメインボディとなり、ガイキング発進後は戦闘能力が低下するため、首と尾を巻き込んだボリュージョンプロテクト（渦巻き防御形態）をとる。ここから全身が光波バリアに包まれ、高速で前方へ回転しつつ突撃する必殺技「絶叫コースターアタック」を展開する。番組終盤においては火力増強用のヴォーグアイを装着。主翼内部から発射されるドラゴンカッター、格納庫内から三つのパーツを射出、合体するミラクルドリル[5]、格納庫内から飛び出す巨大な左右開閉式の角ビッグホーン、腹部から飛び出す巨大な刃ジャイアントカッターなどを装備。正面に大型、後部に小型のミサイルも備えている。尾部にはサブ・コックピットがあり機銃も装備されている。  
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

## 【バゾラー】

角竜型戦闘メカ。全長20メートル。ヤマガタケが搭乗。バゾラー砲を装備。

## 【ネッサー】

魚竜型戦闘メカと呼称されているが、実際の形態は首長竜もしくはカミナリ竜である。名前の由来はネッシーで容姿も酷似している。全長25メートル。ブンタが搭乗。単機で暗黒怪獣を撃破したこともある。ミサイルとビーム砲に加えてネッサーファイヤーなる火炎も備えている。飛行も可能。

## 【スカイラー】

翼竜型戦闘メカ。全長25メートル。リーが搭乗。ミサイルとビーム砲を装備。空戦での支援として活躍も多い。

# 1976年

2022.02.23



# 大空魔竜ガイキング 1976年

【登場人物・大空魔竜隊】

【ツブキ・サンシロー】声 - 神谷明

18歳。本作の主人公。プロ野球チーム「レッド・サン」の二軍投手で、魔球をひっさげて一軍デビューの予定だったが、暗黒ホラー軍団の攻撃で左腕の左手が使えなくなり引退。大文字博士の誘いでガイキングのパイロットとなる[3]。サウスポーであるがガイキング自身は右でハイドロ・ブレイザーを投げる描写もある。作中一度だけ「レッド・サン」に復帰したが、試合には登板しなかった。第21話でエリカから「飾りがなく男らしい人」と評されている。第2話で人体プラズマを発生させてトラックを空中に吹き飛ばす超能力を発揮するが、彼や大空魔竜チームが優れた超能力者という設定は後にかなり縮小されてしまったため、その後の戦いでこの能力は登場しなくなる。

【大文字博士】声 - 柴田秀勝

45歳。大空魔竜戦隊の創設者であり、総責任者。早くから宇宙からの侵略を予見し、密かに超能力者を集めて大空魔竜戦隊を組織した。普段は温厚で冷静な紳士だが、第32話ではポー船長から侮られて珍しく激昂する場面がある。

【フジヤマ・ミドリ】声 - 小山まみ (小山菜美) / 冬馬由美 (『新スーパーロボット大戦』のみ)

17歳。大空魔竜の通信担当。大空魔竜戦隊の男性陣に人気があるが、特に気のある男性はおらず、サンシローやヤマガタケ等、自身に気のある男性のあしらいに長けた一面も持つ。幼い頃に記憶を失っていたところを大文字博士に拾われて養女として育ったが、実はピジョン星人という意外な正体を持っている。

【ピート・リチャードソン】声 - 井上真樹夫

18歳。大空魔竜のメインパイロット。アメリカ海兵隊あがりの元トップガンで、大空魔竜の中でも気障でクールな性格故にサンシローと衝突することも多い。第9話で弟のトム (声- 野沢雅子) に対しても厳しく接するなど情に流されず振る舞うが、それらは地球を守る使命感ゆえのものであり、本来は優しい性格。考古学に関して強い興味を持っているが時に盲目になることもあり、それを敵に利用され大空魔竜に乗っ取られる失態を犯したこともある。父は豪華客船の船長であったが安定航路を確信して泥酔してしまい、嵐が来ることを予測出来ず母と共に死亡してしまった。それが父を反面教師として彼が完璧主義者を目指す所以である。

【サコン・ゲン】声 - 山田俊司 (キートン山田)

20歳。大空魔竜のシステム・技術担当で戦隊の参謀長。IQ340の超天才で、自分の頭脳を直結してコンピューター代わりにするという離れ業をやったのけたこともある。趣味は釣り。チームクレーバーな男であるが時に熱くなることもある。「フェイスオープン」でのガイキングの追加武装は彼の発案による。

【ヤマガタケ】声 - 加藤修 (加藤治)

18歳。大空魔竜戦隊のコンバットフォースの一員で剣竜バゾラーのパイロット。元・大山部屋所属の力士で、幕下以下のふんどし担ぎに過ぎなかったが横綱より上の縦綱を名乗ったことがある。基本的に単細胞な性格で、惚れているミドリに弱く、サンシローやピートに對抗心を燃やすことも多い。

【ファン・リー】声 - 徳丸完

18歳。大空魔竜戦隊のコンバットフォースの一員で翼竜スカイラーのパイロット。香港出身で、かつては元キックボクシングの世界チャンピオンであった。かつて両親を失い、弟のサン・リーとキックボクシングの弟分であったチャンメイを暗黒ホラー軍団の手により失うなど、不幸が多い。性格は穏やかで思慮深く、サンシローの抑え役に回ることも度々ある。

【ハヤミ・ブント】声 - 緒方賢一

18歳。大空魔竜戦隊のコンバットフォースの一員で魚竜ネッサーのパイロット。穏和で陽気なムードメーカー。元ダイバーゆえに素潜りが得意で水深90メートル程は潜れる。常に敬語で話し、大柄な体格に似合わず繊細である。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



2022.02.23

<https://majingai.x.fc2.com>



# 1976年

## 【登場人物・暗黒ホラー軍団（ゼーラ星人）】

ダリウス大帝が組織したゼーラ星の地球侵略軍。ゼーラ星の優れた科学力を結集して生み出される暗黒怪獣を主力運用兵器とし、ダリウス以下デスクロス四天王を初めとするロボット幹部、優れた人間を強化改造したデスクロス騎士団、生体改造兵士である暗黒騎士、暗黒鳥人を構成員とし、さらに移民船団はゼーラ軍人が管轄している。高度な科学力と兵器を持つものの、圧倒的に総兵力が不足しているためにゼーラ星が崩壊するまで総攻撃をかけることはなかった。第44話で全軍で地球侵略に当たるが、大空魔竜、ガイキングが居ない状況にも関わらず、日本の防衛軍にすら手こずる有様だった。ダリウス自身はゼーラ星の太陽に当たるシグマ星がブラックホール化した数千年前から存在していたが、第3話に登場するゼーラ星人803号の発言によれば、暗黒騎士団（後にデスクロス騎士団に再編）、暗黒鳥人部隊を始めとする暗黒ホラー軍団の結成はごく最近である。

## 【ダリウス大帝】声 - 緒方賢一

地球から6千光年の彼方にある滅亡の危機に瀕したゼーラ星人が、生存の道を探るべく創り出した機械神（巨大コンピュータ）。しかし、逆に創造主たるゼーラ星人を支配し、地球への移住をめざして侵略を開始する。ダリウスの真の目的は地球侵略に留まらず、全宇宙支配だと第3話で明言している。このことから、文明発生以前の地球やエメラルド星等、宇宙征服のための補充兵力にならないと判断した星は移住対象と見なさず、人的、物的被害を拡大した。目・鼻の上に口がある異様な顔つきが特徴でデスクロス四天王より遥かに巨体。第20話で数千年前から存在していたことが明らかになっている。ゼーラ星人絶滅の危機を救おうとはしているものの、愛情や信頼という人間固有の心が理解できないため、地球人との友好による移民論者をことごとく粛清してしまい、第43話で市民達から侵略に固執して移民交渉をしなかったことを詰問され、ついには市民を見捨てて部下達だけでゼーラ星を脱出してしまう。第43話の最終決戦で初めて大空魔竜チームの前に姿を現して宣戦布告し、第44話で単身ガイキングや大空魔竜と剣で戦い、傀儡のようなロボットの正体を明かす。目から発射される破壊光線は一撃でガイキングの左腕を吹き飛ばし、大空魔竜の突進も押さえ込む程の怪力だが、弱点である頭部の電子頭脳をハイドロブレイザーで破壊され爆散した。主題歌3番の歌詞では"大王ブラックダリウス"となっているが、劇中でそう呼ばれたことはない。第35話では例外的にダリウス以下、四天王、デスクロス騎士、暗黒鳥人も登場しない回になっている（暗黒怪獣のみ登場）。

## 【デスクロス四天王】

ダリウスが作った直属のロボット幹部で、ガイキングと同程度の巨大な身長を持つ。普段は自ら戦うことはせず、各自の専用グロテクターから作戦指揮を行う。グロテクター四機が突き合わせた前部座席に着座して合議を行い、評決は多数決に従うルールがある。ダリウス同様、喜怒哀楽等の感情はあるものの、恋愛感情や肉親を失った悲しみ等は理解できない。同時にダリウスへの反抗心や他の四天王への反感という感情も持ち合わせていないため、最後まで仲違いすることもなかった。共通して作戦の詰めが甘く、人心への配慮を欠くため、幾度も配下の命令無視を引き起こし、大空魔竜やガイキングを仕留める機会を失っている。全宇宙支配が最終目的であり、四天王各人には目的達成時の王号が前もってダリウスから与えられている。第24話で祝杯を揚げるシーンがあり、ロボットでありながら味覚が存在する。最終回で暗黒怪獣や軍団が全滅し、決戦のため大空魔竜の前に初めて姿を現した。しかし大文字博士やサンシローからは「手下」、ヤマガタケからは「ノータリン」呼ばわりされてしまう。決戦では大空魔竜に対して一斉に白刃突撃を敢行し、各自が目から出すビーム（電磁波）十字砲火により大空魔竜を操縦不能に陥れるが、ガイキングの不意打ちで一角を崩され、そのまま各個撃破されて全滅する。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

## 【キラール将軍（北の王）】声 - 井上真樹夫 (1-5話) / 山田俊司 (6-最終話)

やや肥満気味で猪武者のような形相だが最も表情が豊か。粗暴で好戦的だが策略も使い、慎重論を唱える場面もある。先手必勝を好み、陣頭指揮を取る回数は最も多い。部下を平気で殺す等の非道な面も持ち合わせる。第44話で全兵力を失うと今までの威勢は消え失せ、逃げ惑う中、ガイキングのハイドロブレイザーで破壊された。

## 【デスマント将軍（東の王）】声 - 柴田秀勝

大きな耳が特徴で黒い頭巾を被っている。四天王中最も冷静で激昂したことがないため、まとめ役となることが多い。ダンケルと同じく、陣頭指揮はほとんどしない。第44話で大空魔竜に踏み潰されて破壊される。

## 【アシモフ将軍（西の王）】声 - 加藤修

常に昆虫の様な緑色のマスクを被っており、彼だけが角が無く鞭を持っている等、異色の存在。14話で大空魔竜乗組員を捕虜にした時、四天王として初めて顔を合わせたが、このときの身長は10メートル程度であった。キラールに次いで陣頭指揮回数が多い。第44話でガイキングのダブルガイザーによって最初に破壊された際スキンヘッドであることが明かされる。

## 【ダンケル博士（南の王）】声 - 徳丸完

端正な顔立ちの四天王唯一の科学者。肩書は博士だが服装は他の四天王同様の鎧装束。暗黒怪獣の設計製作や兵器開発を担当。普段は冷静だが、味方のミスで作戦が失敗すると激昂する一面がある。キラールからも一目置かれ敬語で呼ばれている。四天王最後の一人としてガイキングに剣で立ち向かったが、ダブルクロスで頭部を破壊されて爆発した。

2022.02.25

<https://majingai.x.fc2.com>

# 大空魔竜ガイキング



# 大空魔竜キング

# 36年



話数	サブタイトル	脚本	演出	作画監督
1	謎のブラックホール	高久進	勝間田具治	白土武
2	みたか必殺魔球 上	原正三	生頼昭憲	谷口守泰
3	ダリウス大帝の謎	山崎晴哉	小湊洋市	福田皖
4	光る目のハニワ	上原正三	白土武	内山正幸
5	男一匹ヤマガタケ	吉川惣司	生頼昭憲	野田卓雄
6	よみがえったムー帝国	上原正三	井内秀治	白土武
7	恐怖の逆デスクロス	山崎晴哉	落合正宗	落合正宗
8	発狂した大空魔竜	高久進	勝間田具治	谷口守泰
9	ナスカ地上絵の謎 高久進	山本優	白土武	内山正幸
10	スカイラー 死へのジャンプ	高久進	生頼昭憲	野田卓雄
11	泣くなハチロー	山崎晴哉	高屋敷英夫	杉野昭夫
12	応答せよ! ミドリ	山崎晴哉	小湊洋市	落合正宗
13	砂漠に吠える赤サソリ	吉川惣司	白土武	白土武
14	大空魔竜の逆襲	上原正三	白土武	白土武
15	これぞミラクルドリル!!	上原正三	山吉康夫	谷口守泰
16	ミドリ 永遠の別れ	吉川惣司	勝間田具治	白土武
17	吠えるネッサー 大海中戦	山崎晴哉	生頼昭憲	野田卓雄
18	宇宙船ノアの方舟	高久進	新井光	高屋敷英夫
19	弟よ・明日に歌え!	上原正三	山崎晴哉	山吉康夫
20	地獄戦士の復しゅう	山崎晴哉	吉川惣司	岡崎邦彦
21	涙のデビルジャガー	山崎晴哉	山崎晴哉	生頼昭憲
22	地底王国の謎	上原正三	上原正三	山吉康夫
23	地獄の月世界	上原正三	上原正三	井内秀治
24	巨石 (イースター) 島の守り神	上原正三	上原正三	生頼昭憲
25	地のはての死闘	山崎晴哉	山崎晴哉	井内秀治
26	宇宙をかける天馬	吉川惣司	吉川惣司	勝間田具治
27	南十字星に誓う	山崎晴哉	山崎晴哉	芹川有吾
28	宇宙にとどけ ゼウスミサイル	吉川惣司	吉川惣司	山吉康夫
29	晴れ姿 ヤマガタケ土俵入り	山崎晴哉	山崎晴哉	岡崎邦彦
30	密林の大恐竜	上原正三	上原正三	井内秀治
31	復しゅうのダブルイーグル	山崎晴哉	山崎晴哉	生頼昭憲
32	宇宙から来た幽霊船	吉川惣司	吉川惣司	芹川有吾
33	大魔王ヒミラー出現 上	原正三	原正三	山吉康夫
34	猛烈火車カッター	山崎晴哉	山崎晴哉	生頼昭憲
35	さらば栄光のマウンド	山崎晴哉	山崎晴哉	勝間田具治
36	燃えよ! ゴールデンレオ	山崎晴哉	山崎晴哉	井内秀治
37	占領された大空魔竜	上原正三	上原正三	芹川有吾
38	緊急発進! エベレストに向え	吉川惣司	吉川惣司	明比正行
39	嵐を呼ぶ神の手	上原正三	上原正三	山吉康夫
40	バラの宇宙船	吉川惣司	吉川惣司	芹川有吾
41	ジャイアントカッター逆さ斬り	山崎晴哉	山崎晴哉	生頼昭憲
42	ネス湖の大恐竜	上原正三	上原正三	山吉康夫
43	まぼろしの火星城	上原正三	上原正三	生頼昭憲
44	壮烈! 地球大決戦	生頼昭憲	生頼昭憲	生頼昭憲

**【ユカ】** 声 - 川島千代子  
 第36話に登場。鬣から火を放つ獅子、ゴールデンレオに乗るアフリカ出身の美少女。フランス、パリの大学に留学する程の才媛だったが、文明人が自然破壊や野生動物の乱獲を招き、自分達の部族を奥地に追いやった原因と憎むようになり、かつてチタウ三帝国が栄えた地で自然や動物を守護する女王として祭り上げられるようになる。精神を徐々に狂わせる草の毒で呪術師に操られていたが、香港出身のファン・リーに麻薬の一種と見抜かれ、解毒剤を投与され正常な理性を取り戻す。

**【エリカ】** 声 - 小原乃梨子  
 第21話に登場。恋人のスタール (声 - 神谷明) を大空魔竜との戦いで失い、ダリウスに直接志願して暗黒怪獣デビルジャガーのパイロットとしてガイキングに戦いを挑む。ほぼ相打ち状態でガイキングを倒し、意識を失ったサンシローを殺そうとするが、サンシローが死んだ恋人スタールに瓜二つだったため、洗脳されて地球側に利用されていると思いつめを刺さずにその場を退却する。サンシローを拉致して調べた結果、地球人であることに落胆して殺そうとするが、恋人に内面まで似ていたサンシローを憎みきることが出来ず、自ら洗脳してデスクロス騎士として戦う決意をする。デスクロス騎士として再び暗黒怪獣デビルジャガーに乗り込みガイキングに戦いを挑み、あと一步の所まで追い詰めるが、大空魔竜のビッグホーンに敗れ去る。死の直前に正気を取り戻し、恋人の名を一言呟き死を遂げた。

**【エメルダ】** 声 - 増山江威子  
 第40話に登場。地球の半分程度の惑星、エメラルド星の王女。エメラルド星は毒ガス星雲の侵食により絶滅の危機にあり、大空魔竜を倒せばデスクロス現象で毒ガス星雲を吹き飛ばすというダリウスの約束に従い地球にやって来る。エメラルド星で唯一の円盤兵器、エメラルドの薔薇でガイキングを易々と捕獲しサンシローのみを連れ去った。サンシローを殺すつもりで近付いたが、彼の優しさにほだされてしまい、どうしても殺せなくなる。共に大空魔竜と戦って欲しいとの申し出をサンシローに拒絶され、彼と戦う決意をする。圧倒的な戦力で大空魔竜を大破させるが、毒ガス星雲の正体が暗黒ホラー軍団の暗黒怪獣ガスロイドで、既にエメラルド星はデスクロス現象で破壊されていたことを知り、死を覚悟でサンシローに全エネルギーを渡して150倍に強化されたザウルカイザーでガスロイドを破壊させる。

**【その他のゼーラ星人】**  
 地球人より遥かに早く科学を発達させていたゼーラ星人は、すでに数千年前から他の星への移住を試み、地球にも到達していた。世界各地の古代遺跡・オーパーツはその名残であり、地球の地下には彼らの置き土産というべき暗黒怪獣が多数眠っている。最終回近くでゼーラ星居住の市民とダリウス大帝一派が対立する一幕も見られた。市民は元々平和で地球人との共存を望んでいたが、ゼーラ星崩壊直前まで移民交渉が全く行われていないことを知らされておらず、ダリウスによる地球侵略行為を強く咎めた。市民の多くは良心的な平和主義者である。ゼーラ星崩壊時にはゼーラ星全土で僅か1都市しか居住地区が残されておらず、残された市民もごく僅かで、ほとんど絶滅寸前であったことが明らかになる。種族的特長として、個人差があるものの大きく尖った耳、額、鼻筋、目の脇の皮膚の色が濃い等が挙げられる。浅黄色の皮膚を持つ者や、顔の皮膚の色に階調差がない者もいる。寿命や成長速度、精神面では地球人と大差ないが、子供でも宇宙船の操縦が出来る程、知能は非常に高い。  
 出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』